

事務事業名	地域コミュニティイベント支援事業(新緑まつり)		所属部局	市民部		単位番号	4144				
			所属課室	芦安窓口サービスセンター		課長名	有野敏也				
	☒ 実施計画事業		所属担当	窓口サービス担当		担当者名	石川千秋				
基本政策	基本計画体系	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政 策		02	地域ネットワークの充実		01	一般	0	2	0	1	1
施策		03	地域コミュニティ活動への支援	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	南アルプス市地域コミュニティイベント補助金交付要綱							
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)							
	事業の内容 南アルプス市街の山々が新緑を迎える5月15日に実施した。芦安地区の各種団体による舞台発表、販売コーナー等を行い、訪れる人々と自然に触れ合いながら交流する。また震災後南アルプス市の初めてのイベントで芦安地区から被災地メッセージを送った。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
				協議会、協会、団 1,200							
				計 1,200							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	地域のコミュニティイベントとして、市は食品衛生の届出及び備品の貸出等を行い、すべて実行委員会が中心となり司会等中学生が行った。手作りのイベントである。
22年度活動実績	今年、5月15日に実施し、会議、備品の貸し出し及び当日の出発で全て実行委員会が中心で開催した。
23年度活動予定	
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	県内外の市民、市を訪れた観光客、被災した住民、協力団体、出演団体
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	芦安地区の新緑がすばらしいということを知る。 出演団体の日頃の練習の成果発表の場。 地域市民相互の協力により事業を実施し、地域コミュニティ活動が推進された。
上位目的(どのような結果に結び付けられるのか)	観光客が芦安地区にくる。市内外にPRできた。地域活性化になった。 出演団体の活動が活発になった。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 実行委員会開催回数	回
イ: 各種団体数	団体
ウ:	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 市人口	人
イ: 市民以外の参加者	人
ウ: 協力団体、出演団体	団体
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 新緑まつりに参加した人の満足度	%
イ: 芦安地区の新緑まつりを知っていると答えた人の数	人
ウ: 日頃の成果を発表できて満足と回答した人	人
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 本市へ来訪する観光客の延人数	人
イ: 地域コミュニティ活動に参加している人の数	人

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	1,000	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	
		事業費計 (A)	千円	1,000	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0	0	
		延べ業務時間	時間	0	0	0	0	0	0	0	
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		(A) + (B)	千円	1,000	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	0	
活動指標		ア	回	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
		イ	団体	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0		
対象指標		ア	人	72,669.0	72,869.0	72,833.0	72,833.0	72,833.0	72,833.0		
		イ	人	750.0	900.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0		
成果指標		ウ	団体	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0		
		ア	%								
上位成果指標		イ	人								
		ウ	人								
		ア	人	73,014.0	72,854.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0		
		イ	人	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併以前、観光PRとして春に「新緑まつり」が行われてきた。平成19年度イベント検討会で新緑まつりが廃止され、その後紅葉まつりで実行委員会が中心となり平成23年度より新緑まつりが復活した。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	今後も実行委員会が中心となり、企画運営実施する。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	中学生が司会を務め内外より、高評価を得た。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている 【内容!】 ☐ 取り組みしていない 【理由!】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	今後も実行委員会が中心となり、企画運営実施する。地域コミュニティイベントと位置づけでき、地域活性化に結びつける。
H 22年度に実施した改革改善の内容	組長会議に諮り、平成23年度より新緑まつりを実施することになった。

事務事業名	地域コミュニティイベント支援事業(新緑まつり)	所属部	市民部	所属課	芦安窓口サービスセンター
-------	-------------------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 本事業を通して各種団体及び地域住民が協力体制を構築し合い地域のネットワーク作りに貢献している。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 地域イベントに位置づけられており、実行委員会で行うのが妥当である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 お年寄りから子供まで参加することができ、地域コミュニティイベントの場となり対象・意図は妥当である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 住民主体によって自由な発想、住民の目線で捉えることができた。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☒ 統合・連携ができない 【理由↓】 地域イベントであり、他に類似事業がない。 ☐ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 地域の活性化が衰え過疎が一層進む。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 地域住民が主体で実施しており、市内外からの参加者が年々増えているため。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 各組長や実行委員会の協力により(無報酬)運営できたので、これ以上削減の余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 必要最低限の経費であり、削減余地はない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 必要最低限の経費で運営し、だれでも参加することの出来るまつりであり公平である。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	平成23年度より新緑まつりが復活でき、今後も実行委員会を中心に各種団体、出店団体の協力により、芦安地区の住民交流の場になった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性、 、 の結果) ☒ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性、 の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						
		コスト削減優先度評価結果																						